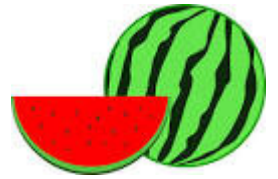


地域がん診療連携拠点病院

＜川崎市立井田病院からのお知らせ＞



# 第53号 井田山



**基本理念** 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、  
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

発行責任者 神山 隆

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>



## 救急センターの運用が始まりました



4月1日に救急センター所長に就任しました鈴木です。新設された当センターには重症処置室1室、中等症対応処置ベッド2床、診察室3室と観察ベッドが6床あります。

救急車で搬送された場合には、病状に応じて重症処置室(1室)または中等症対応処置ベッド(2床)で、直ちに診療が開始されます。また、徒歩あるいは自家用車等で直接来院された場合には、受付で手続きをしていただいた後にその並びにある診察室で診療します。

当センターはその機能上、診療は受付順ではなく、より重症の方を優先して行いますので、来院頂いた時の診療状況によってはお待ちする場面もあるかと思えます。事務職員からもお声かけをするつもりですが、あまりにも長い時には受付に遠慮なくお尋ねください。

「救急患者を確実に受け入れ市民ニーズに答える救急！」を基本コンセプトに、医療スタッフの総力を挙げて成人疾患の二次救急医療の充実・強化を図ってまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



救急センター所長 鈴木貴博



救急センター受付



中等症対応処置ベッド

## 《井田病院は「地域がん診療連携拠点病院」です！》

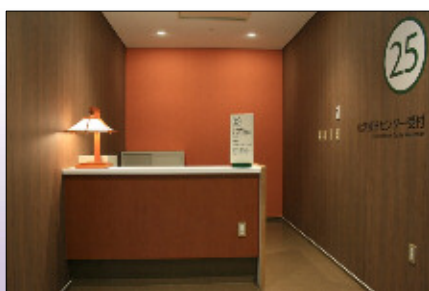
井田病院は、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」として指定されています。

全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、厚生労働大臣が指定する制度で、専門的ながん医療を提供するとともに、各地域のがん診療の連携協力体制の整備やがんに関する相談支援情報の提供を担っています。

井田病院は川崎南部医療圏（川崎区、幸区、中原区）の拠点病院として、公的がん検診（川崎市のがん検診）をはじめ、がんドックなどによるがんの早期発見から、手術・放射線治療・化学療法などによるがんの治療を行い、そして在宅医療から終末期医療までを行っている「がん難民」をつくらぬ病院です。

平成27年度に井田病院新棟が全面開院し、化学療法センターと内視鏡センターを新装しました。

設備が新しくなったことで療養環境が向上し、治療を受けている患者さまから「治療を受けていて気持ちが良い」等うれしい言葉をいただいております。



化学療法センター受付



化学療法センターは、腫瘍内科医、がん化学療法認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師がおり、より良い治療を提供できるよう尽力しております。

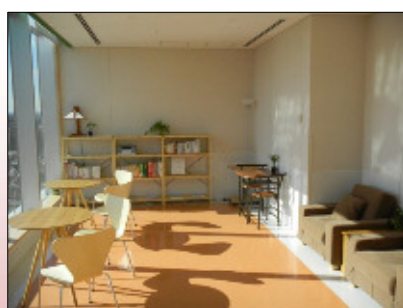
内視鏡センターは、昨年10月より慶應義塾大学病院から大森泰医師を迎え、なるべく苦痛の少ない内視鏡検査、内視鏡でのがん治療を心がけています。



内視鏡センター受付



がんサロン入口



7階には「がんサロン」があり、がん患者やその家族の談話の場として、そして様々なイベントを開催しています。

井田病院は交通の便が良いとはいえませんが、井田山の自然に包まれ、心が和らぐ療養環境を患者さまに提供いたしますとともに、「地域がん診療連携拠点病院」としての役割を果たしてまいります。

（地域医療部）



## 《初期臨床研修医のご紹介と教育への取り組みについて》

井田病院1階の中央廊下右手に、「当院が基幹型研修病院であること」「研修病院としての理念」の2枚のパネルが掲げられ、次のような内容になっています。

### 臨床研修病院としての理念

1. 市民が安心して暮らせるように、プライマリ・ケアを学びます。
2. 地域医療を担う医師として、人格の涵養に努め、全人的な医療を行います。
3. 病を抱えた患者さんや家族に寄り添い、全人的なチーム医療を実践します。

井田病院は自治体病院であり、地域医療を担える医師を育成したいという希望からこの理念をつくりました。今年度は初期臨床研修医として、下村雄太郎先生・山之内健人先生・中村匠先生・渡邊ひとみ先生の4名を迎えました。先生方は皆優しく真面目なお人柄で、一生懸命医療を学んでいます。

初期研修医は、1年目に内科(6か月)・外科(3か月)・救急(3か月)を学び、2年目は川崎病院で小児科・精神科・産婦人科を1か月ずつ研修します。その後は、当院で在宅医療や緩和医療を学びながら、将来の専門科を視野に入れて自由に診療科を選び研鑽を重ねていきます。

研修中は病棟や救急外来を担当し、地域の皆さまを診療させていただきますが、必ず上級医の指導のもとで診療しておりますのでご理解をお願い申し上げます。

また、井田病院は基幹型研修病院として認定されていますが、臨床研修教育の質について10月に卒後臨床研修評価機構による第三者評価を受けることになりました。評価を受けることにより、更に充実した研修を行ってまいりたいと思っております。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



山之内医師 渡邊医師 中村(匠)医師 下村医師

(教育指導部長 麻薙 美香)



## 《3期工事が始まりました》

2期工事も終わり、1月から検査部門、内視鏡センター、化学療法センターの移転を順次行い、病棟も含め4月に新棟が全面オープンいたしました。今度は、これまで使用していた3号棟を解体します。また、解体に引き続き、駐車場等の建設を行います。

現在は、解体準備が始まり、防音や安全確保のため、工事エリアに囲いを行い、3号棟の建物に足場をかけているところです。解体に当たっては、騒音対策等を行いながら、安全第一で行っていきます。

3号棟周りに囲いを行ったことで、駐車場のスペースが少なくなるとともに、駐車場までの通路が狭くなり、大変ご迷惑をおかけいたしております。また、解体が始まると、どうしても騒音が出てしまうことや、工事車両の出入りが増加することが予想されます。警備員を配置し、駐車場を安全に利用してもらえよう十分に配慮いたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

### < 工事の予定 >

4月～ 解体準備

5月～ 内装(天井や配管など)解体、庭園の土の運び出し

8月中旬～ 建物解体作業 (大きな音や振動がします。)

～冬ごろ 解体終了、駐車場の建設工事へ



駐車場までの通路



3号棟

(庶務課 管理係)



# 新マンモグラフィシステム導入

## Selenia Dimensions



放射線診断科では、2015年4月に新機能のマンモグラフィ専用X線装置を導入しました！  
従来の装置の機能に加え乳房トモシンセシスシステムの機能が新しくついた最先端撮影装置です。  
この機能により、微細な辺縁と石灰化病変の分布の認識率が飛躍的に向上し、従来のマンモグラフィに比べ腫瘍の有無、大きさや形、石灰化の有無などの病変をより一層見つけやすくなりました。

**マンモグラフィとは**  
乳房のエックス線撮影のことです。  
初期の乳がんや、しこりを作らない乳がんを白い影や非常に細かい砂粒のような画像(石灰化)として見つけることができます。

**トモシンセシス（断層）システムの特徴**  
角度を変えて複数の方向から撮影するため、乳腺内に隠れて見えなかった病変を確認することができます。また、腫瘍の辺縁、しこりなども容易に確認することができます。

**ステレオガイド下マンモトーム生検とは**  
乳房X線撮影装置を利用して、乳房内にできた病変の組織を採取し、病理組織診断を行う検査です。  
生検後は小さな傷がひとつだけで縫合は不要です。  
触診では明らかなしこりを触れず、マンモグラフィでしか病変が描出できない、石灰化病変等が対象となる検査です。  
生検は超音波を利用して行う方法もあります。



**安心して検査を受けていただくために**  
撮影はマンモグラフィ検診認定の女性放射線技師が担当しています。

乳がんは早期発見が可能です。早期発見のために視触診・マンモグラフィ・超音波検査といった乳がん検診を定期的に受けることが大切です。

☆井田病院では、乳がんに関連した検診として、「川崎市がん検診（川崎市民を対象）」を受けることができます。

☆また、「人間ドック」や、がん検診に特化した「がんドック」を用意しています。

☆いずれも予約制となっていますので、詳しくはお問い合わせください。

☆問い合わせ：井田病院総合受付 ☎044-766-2188（代）

### 市民公開講座開催のお知らせ 《申込不要・参加費無料》

『がんとの向き合い方～抗がん剤、緩和ケアなど～』

◆日時：平成27年7月24日（金）午後2時～ ※開場は午後1時30分からとなります。

◆場所：井田病院2階会議室・定員50名（当日先着） ◆講師：井田病院腫瘍内科副医長 西 智弘

今回は当院腫瘍内科の西医師から、抗がん剤や緩和ケアについてのお話をいたします。

（問い合わせ：地域医療部 ☎044-766-2188（代））